

たかまつ市議会 レポート



令和2年
6月定例会

令和2(2020)年
8月1日発行
(第197号)

常任委員会の審査開始

6月18日・19日・22日・23日に常任委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大への対応等に係る、令和2年度高松市一般会計補正予算等20議案の審査を行いました。

※主な審査内容：7ページ参照

【総務常任委員会】



【教育民生常任委員会】



【経済環境常任委員会】



【建設消防常任委員会】



目次

- 代表質問…2～5
- 質疑・一般質問…5～6
- 情報BOXほか…6～8

令和2年第3回高松市議会定例会は、6月10日から25日までの16日間の日程で開かれました。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応等に係る、令和2年度高松市一般会計補正予算のほか、議員報酬の一部を改正する条例など41議案を可決・同意しました。

紙面よりも
早く見れるよ

詳しい情報は高松市議会ホームページへ
ホームページには、議会開催月の翌月中旬頃に掲載します。



質問者

質問の主な内容



自民党議員会
白石義人
政治姿勢、行財政、まちづくり、防災、文化・スポーツ、産業、福祉・保健、教育、病院



公明党
田井久留美
新型コロナウイルス感染症対策、行財政、医療提供体制、経済、教育、防災、福祉、文化芸術、環境



市民フォーラム21
中西俊介
新型コロナウイルス感染症関連、行財政、病院、政治姿勢、防災、環境、少子化・子育て支援



同志会
妻鹿常男
まちづくり、行財政、働き方改革、防災、高齢運転者支援、待機児童、環境、教育

政治姿勢

新型コロナウイルスにより落ち込んだ地域経済への支援

【問】新型コロナウイルス感染症拡大により、落ち込んだ地域経済を立て直すための支援を、継続的に行う考えは。【議員会】

【答】売上げが減少した中小企業等を支援するため、市独自の特別経済対策であるテナント賃料給付金や宿泊業応援金の速やかな支給に努めている。新型コロナウイルスの影響は、さらなる長期化が懸念されることから、国や県の施策と連携・補完しながら、感染防止対策と地域経済の再起動への取組を両立させ、より多くの事業者を支援していく。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う職業者への支援

【問】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、働く場を失った人を対象とする職員採用を行う考えは。【議員会】

【答】感染拡大により職を失った人を対象として、本年6月、会計年度任用職員を3名採用するとともに、来年4月採用の正規職員を5名程度募集した。今後も、大学等と連携し、生活に困窮している学生をアルバイトとして雇用することを検討するなど、働く場を失った人の雇用拡大に努める。



Copyright(C)2020 Kagawa Prefectural Government and SANAA.All rights reserved. 新県立体育館基本設計イメージパース

まちづくり

【問】新県立体育館の整備を見据え、サンポートエリア一帯での大規模MICEの誘致や観光振興に、積極的に取り組む考えは。【同志会】

【答】現在、関係機関と連携し、本市振興戦略に基づきMICE振興を推進しているが、体育館の整備によりサンポートエリアの収容能力は大幅に拡大するため、国内外から、より多くの誘客が期待できる。体育館整備に併せ、民間事業者等と連携し、宿泊や滞在時間の延長による観光消費が期待できる夜型観光や、体験型コンテンツの充実を図るなど、より積極的な観光振興に取り組む。

行財政

【問】新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が悪化する中、今後の行財政運営は。【公明党】

【答】企業の業績悪化や所得の減少に伴う法人市民税・個人市民税の減収が見込まれるなど、歳入においては、今後の税収の落ち込みが懸念される。また、歳出では、本市独自の新型コロナウイルス感染症対策事業の実施に加え、子ども・子育て支援施策の充実や社会保障給付のほか、老朽化施設の更新や修繕経費など、今後、さらなる財政負担が見込まれる。このため、今年度の事務事業全般について、新しい生活様式への対応という視点で見直しを進めており、不急事業の先送りや予算執行の一部停止など、感染症対策に向けた財源確保に努める。厳しい財政状況下ではあるものの、国の動向や税収の状況等を十分に見極め、感染症の拡大防止と社会経済活動の維持との両立を図りながら、将来にわたり、

産業・環境

【問】未利用食品を生活困窮者などに提供するフードバンク活動の体制整備と基盤強化に取り組む、食品ロス対策をさらに推進する考えは。【公明党】

【答】フードバンク活動に自主的に取り組んでいる活動団体と連携し、各家庭の余剰食品等を提供するフードドライブなどの活動に取り組むとともに、フードバンク活動の認知度向上に努めてきた。今後は、本市の環境・福祉部門の連携の下、活動団体と食品関連事業者との意見交換の場を設けるなど、関係者間の情報共有や連携により、フードバンク活動の基盤強化に取り組む、食品ロス対策のさらなる推進に努める。

病院の業務継続計画策定支援

【問】災害時に継続した医療提供ができる体制を確保するため、病院の業務継続計画、いわゆるBCPの策定支援を、国や県に働きかける考えは。【同志会】

【答】病院のBCPを策定することは、大変重要であるが、多くの病院がスキル不足などの理由から苦慮している。今後は、病院の規模等に対応した具体的なガイドラインの提示や、病院の担当者等のスキルアップ研修の充実など、BCP策定に係る支援を、国や県に働きかけ



地域SNS活用の活用促進

【問】地域イベント等の情報発信や電子回覧が可能な地域SNSマチマチの活用を、自治会などの地域団体に対して促す考えは。【議員会】

【答】感染症蔓延時にも、対面せずに双方で情報発信できるマチマチは、迅速な情報伝達・共有のための有効な手段であり、地域団体が活用することで、住民同士のつながりが生まれ、コミュニティがより活性化

する。今後は、地域団体に対して、有効な情報交換の手法として活用を促す。

文化

高松城天守の復元的整備に向けた取組

【問】資料がそろわない場合でも再建可能とする、文化庁が示した新基準を踏まえ、長年の念願である天守の復元的整備に向け、積極的に取り組む考えは。【議員会】

【答】資料がそろわない場合でも再建可能とする、文化庁が示した新基準を踏まえ、長年の念願である天守の復元的整備に向け、積極的に取り組む考えは。【議員会】



高松城天守復元CG

【答】高松城の天守復元は、本市の歴史を後世に伝える点で意義があり、本市の活性化を図る上でも、様々な波及効果が期待できる。今後は、緩和された新基準に基づき、史跡高松城跡整備会議において、保存活用計画等に必要事項等を

防災

感染症拡大防止のための分散避難に向けた取組

【問】指定避難所以外の避難先の検討を周知する考えは。【議員会】

【答】指定避難所以外の避難先の検討を周知する考えは。【議員会】

【答】指定避難所では、密閉・密集・密接を回避するため、家族間の間隔を可能な限り2メートル空ける必要があることから、複数の部屋を開放するなど、対策を講じるが、全ての避難者を収容することが困難となる事態が想定される。そのため、安全な場所に

民間事業者の持つノウハウ

【問】民間事業者の持つノウハウ

ハウの活用により、効果的で新たな事業展開が期待できる、競輪開催業務に係る包括業務委託を導入する考えは。

【議員読】

【答】新型コロナウイルスの感染拡大により競輪開催が中止となるなど、競輪事業を取り巻く環境が厳しい中、さらなる収益確保を図る必要がある。

そのため、大幅な経費削減による収益増や、お客様へのサービス向上等につながる、包括業務委託の導入に向け、具体的な委託内容やスケジュール等の検討・整理を行い、早ければ来年度の導入を目指す。



高松競輪

福祉・保健

感染症蔓延時に
民間の保育施設等
に従事した職員への支援

【問】新型コロナウイルス感染症蔓延時でも、働いている保護者等に配慮し、開園・開所していた、民間の幼稚園や保育施設・放課後児童クラブの職員に対する手当等の給付を、国に要望する考えは。

【議員読】



【答】本年5月に、中核市長会から、保育施設等従事者に対する支援を盛り込んだ要請を、国に対して提出した。

感染防止対策を講じながら、事業の継続に努める保育施設等従事者の身体的・精神的負担は大きいことから、今後も、様々な機会を捉え、手当等の支援策を国に対して働きかける。

今後の感染拡大に備えた
PCR検査体制の構築

【問】妊婦等が、新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査を早期に安心して受けられる体制を構築する考えは。

【公明党】

【答】症状はないものの、不安を抱える妊婦が希望する場合は、PCR検査を実施し、その検査費用を助成する。

また、発熱等の症状がある妊婦や市民には、本年5月に、県と共同で開設したコールセンター等において、24時間体制で相談に応じているほか、感染の疑いがある場合は、これまでの帰国者・接触者外来に加え、PCR検査センターにつなぐなど、早期に安心して検査を受けられるよう努める。

感染症拡大の影響で
遅延している
幼児健診の早期受診

【問】新型コロナウイルスの影響で遅延している1歳6か月・3歳児健診や、ことば相談の早期受診に向け取り組みを早める。

【議員読】

【答】授業時数の不足がさらに生じる場合は、1週間当たりの授業時数をさらに増やすほか、長期休業の短縮や、最終学年の優先的な分散登校による授業時数の確保などの方策を考えている。

【議員読】

質
疑

岡田まなみ(日本共産党)

給付金申請書類の簡素化

【質】コロナ禍で住宅を失う事態を防ぐため、住居確保給付金の申請書類の簡素化を図り、迅速に支給する考えは。

【答】住居確保給付金は、5月27日の申請受付分から、収入減の根拠資料の後日添付を認めるなどの便宜を図った。

今後、国の方針等に基づき、可能な範囲で申請受付や審査手順の簡略化を図るなど、申請者に寄り添い、適正かつ迅速な支給につなげる。

他 財産の取得

申請ができるよう、書類を簡素化する考えは。

【答】感染拡大防止等の観点から、添付書類を可能な限り簡素化し、郵送による申請受付や電話等による事実確認を行うなど、速やかに減免申請ができるとともに、減免措置が講じられるよう努める。

植田真紀(市民派改革ネット)

レンタサイクル事業

【質】レンタサイクル管理システムの更新に当たり、事業の目指すべき方向性は。

【答】放置自転車の再利用を前提に、最新の情報通信技術を活用した利用申請や、キャッシュレス化等の導入を視野にシステム更新に取り組む。

また、利用促進による収入増や効率的な管理運営による経費抑制など、持続的に運営が可能なレンタサイクル事業の構築を目指す。

他 マイナンバーカード、保育所・放課後児童クラブ

【他】特別定額給付金、新型コロナウイルス感染症から子供の命と健康・教育を守る



教育

臨時休業に備えた
オンライン授業の
早期実現

【問】災害や感染症による学校の臨時休業等の緊急時に、オンライン授業が実施できる環境の早期実現を目指す考えは。

【議員読・同志会】

感染拡大や災害発生に備えた、学校のICT教育を含む学びの保障の取組は。教室内の児童生徒の距離



行うほか、再び感染が拡大し、外出自粛が要請された場合も、インターホンなどにより、直接、高齢者に接触しない見守りや、身体的距離を保った支援を実施し、地域全体で高齢者の孤立化を防ぐ取組を進める。

一般質問

新型コロナウイルス感染症対策で、多忙な執行部の負担を軽減し、市民への一刻も早い対応を優先すべきとの考えから、自民党議員会・公明党・市民フォーラム21・同志会の4会派は、今定例会における一般質問を自粛しました。



オンライン授業の実現に向けて

を保ち、感染拡大の第2波へ備えるため、オンライン授業が実施できる環境整備に取り組む考えは。

【議員読】

面を支えることにもつながるため、今年度中に、全児童生徒の3分の2に相当する端末を整備するとともに、今後、インターネット環境が整っていない家庭もあることから、モバイルルーター等の整備を進める必要がある。

【問】新型コロナウイルス感染症蔓延時に、民間の保育施設等に従事した職員への支援

感染拡大の第2波により
小中学校の授業時数が
不足する場合の対応

【問】新型コロナウイルス感



【答】授業時数の不足がさらに生じる場合は、1週間当たりの授業時数をさらに増やすほか、長期休業の短縮や、最終学年の優先的な分散登校による授業時数の確保などの方策を考えている。

また、最終学年以外は、国の通知を踏まえ、次の学年に移して教育課程を編成することや、学校でしか実施できない実習等に重点化するなど、各教科等の指導計画を抜本的に見直す。



減免申請書類の簡素化

【質】新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少した国民健康保険の加入者が、速やかに保険料の減免

情報BOX

市議会は何をしているの？

市議会では、私たちの暮らしに大切な市の仕事や、市のお金の使い方を決めるために、高松市に住んでいる人の中から「選挙」で選ばれた代表者（議員）が話し合いを行っています。

市議会ですらって話し合うの？

市議会議員が、全員が集まって話し合う会議を「本会議」といいます。毎年4回（高松市では、3月・6月・9月・12月）開かれる本会議を「定例会」といいます。それ以外にも、特に必要があるときには「臨時会」を開きます。

高松市の仕事は、とてもたくさんあり、「本会議」だけでは時間がかかってしまい、十分な話し合いができません。そのため、「本会議」で決める前に、何人かの議員でグループを作り、市の仕事をグループごとに分けて詳しく話し合います。このグループを「委員会」といい、高松市では「常任委員会」と「特別委員会」を設置しています。委員会で話し合った後は、話し合いの結果を本会議に報告します。全員が参加する本会議で、委員会からの報告を参考にして、市が何をするかを決めます。

今回は、議会活動のうち、「常任委員会」の活動について、詳しく御紹介します。

常任委員会ってなに？

地方自治法・条例に基づいて、議会に常に設置されているのが常任委員会です。

高松市議会には、下記の四つの委員会があります。6月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大への対応に係る補正予算や条例改正など20議案を委員会で話し合い、審査が行われました。

今後、各常任委員会では、所管する事務に関連するテーマを自主的に設定して、調査・研究（所管事務調査）を行っていく予定です。



6月定例会・常任委員会での主な審査内容

総務

- 令和2年度高松市一般会計補正予算
・離島等振興費（塩江地区の振興と活性化を図る事業に対する助成）
- 高松市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び高松市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

教育民生

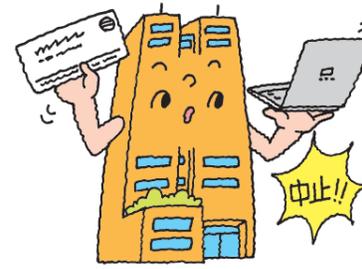
- 令和2年度高松市一般会計補正予算
・生活困窮者自立支援事業費（生活困窮者の相談支援体制強化など）
- ・教育ICT整備・活用推進費（市立小中学校の児童・生徒に1人1台端末を整備）

経済環境

- 令和2年度高松市一般会計補正予算
・観光客受入環境整備事業費（地域経済の再活性化などに向けてSNSを活用した本市の魅力発信するキャンペーンを実施）
- ・文化事業推進費（感染症拡大防止に配慮した文化芸術活動のための経費を補助）

建設消防

- 令和2年度高松市一般会計補正予算
・丸亀町商店街再開発事業費（大工町・磨屋町地区の再開発に係る費用を助成）
- ・自主防災組織等育成費（災害時に避難所で利用する防災備品等の購入費を助成）



他 マイナンバーカード
郵送申請が行えない中で、オンライン申請の中止は、市民が申請手段を失うため、郵送申請の見通しが立つまで運用を継続した。

答 郵送申請との平行運用等について、受付開始直後から国等と協議を行っていたが、臨時会の時点では、中止の考えに至っていないかった。



植田真紀
(市民派改革ネット)

特別定額給付金
5月臨時会で、特別定額給付金のオンライン申請は中止しないと答弁した後、すぐに中止した理由は、また、早い段階で中止すべきだったのでは。

他 住宅問題
国難とも言うべき状況下、市民生活や地域経済を立て直しに全力で取り組むことが急務であるため、現時点では、議論の俎上にのせるべき時期ではないと考える。

今後、感染症問題が地域経済へ与える影響等を十分に見極め、導入時期等を総合的に判断する。



固定資産税の税率引上げ
感染症による市民生活悪化の長期化が懸念されるため、固定資産税の税率引上げの検討を一旦白紙に戻す考えは。



岡田まなみ
(日本共産党)



答 特別定額給付金に係る事務の人員を増強し、対応しているため、大学生の採用は考えていないが、今後、大学等と連携し、生活に困窮している学生を、本市のアルバイトとして採用することを検討する。

他 障害者及び高齢者福祉タクシー助成制度、独り親世帯への支援

困窮している大学生の救済
感染症の影響で雇止めになり困窮している大学生を、人手が足りない特別定額給付金の給付作業に採用する考えは。



太田安由実
(市民派改革ネット)

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち6件について、採決に当たり次のおり賛否が分かれました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を、会派内で意見が分かれている場合は△を表示しております。

件名	議決結果等	会派別賛否							
		自民党議員会	公明党	市民フォーラム21	同志会	日本共産党	市民派改革ネット	無所属	
市長提案	令和2年度高松市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	高松市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	×	○
	財産の取得について(サンポート高松公共施設用地)	可決	○	○	○	○	×	×	○
議員提案	今こそ小中学校の全学年で少人数学級の実現を求める意見書	否決	×	×	○	×	○	○	×
	マイナンバーと預貯金口座とのひも付けを義務化する方針の見直しを求める意見書	否決	×	×	△ (賛成2/反対3)	×	○	○	×
	女性自立支援法(仮称)の制定を求める意見書	否決	×	○	○	×	○	○	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページを御覧ください。

高松市議会における 新型コロナウイルス感染症への取組

■ 議場での感染拡大防止対策

高松市議会では、令和2年6月定例会において、演台にアクリルパーテーションを設置し、発言時の飛沫感染の防止を図りました。

また、令和2年5月臨時会に引き続き、議場出入口の開放、手指消毒薬の設置、傍聴席でのマスク着用や間隔を空けての着席などの対策を行いました。

今後とも、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、新しい生活様式を取り入れた適切な感染防止対策を実践し、円滑な議会運営に努めます。



演台に設置したアクリルパーテーション

■ 議員報酬等の削減（コロナ対策に充当）

高松市議会は、市が行う新型コロナウイルス感染症対策費などに充てるため、議員報酬及び政務活動費の一部を減額する条例改正を、今期定例会に議員提出議案として提出し、全議員の賛成により可決しました。

条例改正により、本年7月から半年間の議員報酬の10%と、本年度の政務活動費の20%を減額し、2,409万6千円を削減します。

議会の傍聴に関するお願い

本会議の傍聴は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ケーブルテレビ・インターネット中継を御利用いただき、来場しての傍聴はできる限りお控えください。

また、議場で傍聴される場合は、入場時に発熱等のチェック、マスクの着用、間隔を空けての着席に御協力くださいますようお願いいたします。



インターネット議会中継は、こちらから視聴できます！

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shigikai/koho/gikai.html>



会議録及びインターネット議会中継

☐ 会議録検索システム (外部サイト)

インターネット議会中継

インターネット議会中継

インターネットライブ中継・録画配信

議会中継

新メンバーでたかまつ市議会レポートを編集します！

市議会レポートの編集と発行を行う広報紙編集委員会では、議会の取組を分かりやすく発信できるよう、紙面の見直しに取り組んでいます。

今後とも、議会を身近に感じていただける情報紙を目指し、紙面の改善・充実に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

